

令和6年度 東部地区幼・保・小連携推進協議会 実施報告

- 1 期 日 令和6年8月8日（木）
- 2 会 場 市民プラザかぞ
- 3 目 的

東部管内において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校及び義務教育学校（前期課程）の教職員による研究協議会等を実施することにより、異校種の教育への理解促進及び異校種との連携意識の高揚を図り、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続につなげる。

4 内 容

(1) 全体会

- ①【国及び県の関係事業説明】
- ②【講演】講師 小宮 豊隆 様
前 加須市立北川辺幼稚園 園長
前 埼玉県国公立幼稚園・こども園長会 会長



埼玉県マスコット「コバトン」

(2) 分科会【研究協議】

- ①幼児教育施設と小学校等の教職員が、それぞれの保育・教育への理解を深めるためにどのような工夫が必要か。
- ②子供の発達や学びの連続性を確保するため、幼児教育施設や小学校等として、これから何に取り組んでいく必要があるのか。
- ③子供が必要な体験を得られるように指導計画を作成するには、どのような工夫が必要か。

5 参加者 小学校等・幼稚園・保育所・認定こども園・東部管内各市町教育委員会

合計161名

6 参加者の感想

- 接続期が大切な時期であるということと、教職員が互いに理解を深めることの大切さが分かりました。
- 全体会では、幼児教育と小学校での教育について、具体例を挙げながらお話をしていただいたので具体的にイメージができて分かりやすかったです。
- 互いの思いや現状についてたくさん話ができ、実りある協議となりました。
- 幼児期の教育に関わっている先生方の話をお聞きして、学ぶことが多いと感じました。どのような関わりや環境があればよいのかについて日々考え、工夫されていることが大変参考になりました。
- 日頃実践していることを振り返る機会にもなりました。
- 協議する中で、「自分で考える力を育てたい」等、子供に対する思いは一緒であると気付きました。
- 子供同士の交流だけではなく、教員同士の交流・連携の大切さが分かりました。実際に参観してみたいと思いました。
- 今後もこのような協議会を続けてもらいたいです。



分科会の様子